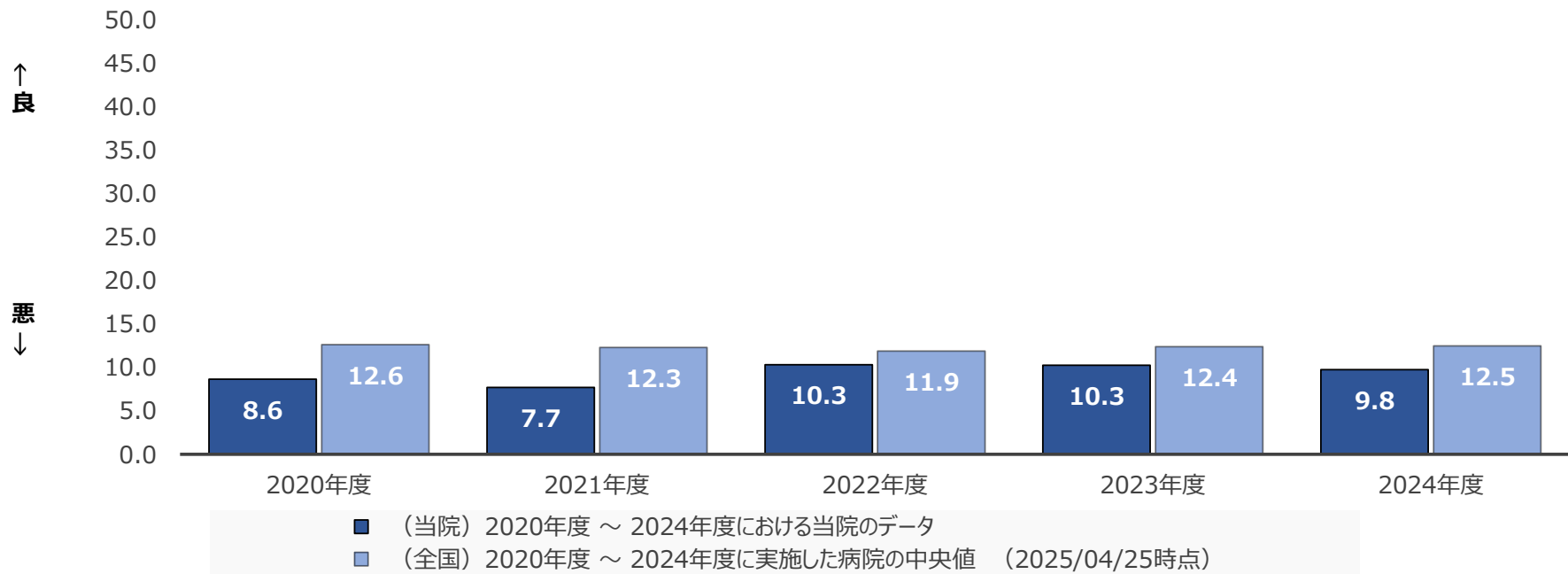


【19】脳梗塞入院1週間以内のリハビリ強度



<定義>

(分子) 入院7日目までのリハビリテーション施行単位数
 (分母) 一週間以上入院した急性脳梗塞症例数

※発症後3日以内に入院した患者が対象

<コメント>

脳梗塞では運動麻痺や言語障害などの様々な症状が出ます。

早期からリハビリテーション（理学療法、作業療法、言語療法）を行った方が機能回復がよいとされます。

積極的に取り組んでいる場合には単位数が高くなります。

休日のリハビリテーションが対応できないために、調査参加病院の中央値より下回っていましたが、院内での改善を重ねた結果、2022年度以降は増加傾向にあります。